

平成31年度 国語科 3年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

< 2 > 第3学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを深め、読書を通して自己を向上させようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ、相手の様子に合わせて話したり、表現の工夫を評価して聞いたり、課題の解決に向けて話し合ったりしている。
書く能力	目的や意図に応じ、文章の形態を選択し、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書いている。
読む能力	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読み、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、身の回りの文字に関心をもち、効果的に文字を使っている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ① 生徒の言語活動を充実させる指導。 ← 思考力・判断力・表現力の育成。
- ② 体験的な学習<体>や問題解決的な学習。 ← 自主的・自発的な学習の促進。
- ③ 学習の見通しを立てたりする学習。 学習を振り返ったりする学習。
- ④ 個に応じた指導の充実。 → 個別指導 グループ別指導 少人数指導
 ティームティーチング 習熟の程度に応じた指導
 繰り返し指導 生徒の興味・関心に応じた課題学習
 コンピュータを活用した学習 補充的な学習
 発展的な学習

国語科 3 学年 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
4	1 深まる学びへ 1 3 時間	表現の豊かさを味わい、生き方を考える 春に ◎詩に込められた作者の人間や自然に対する思いを捉え、自分の意見をもつ。 握手 ◎会話文の言葉やエピソードから、登場人物の人物像や心情を捉える。作品に描かれた登場人物の生き方や考え方を読み、人間や社会に対する自分の意見を書く。	●			●		詩の中の「この気持ち」の内容を捉え、それについての自分の意見をもっている。印象に残る表現を抜き出し、その効果や工夫について考えている。
5		◎会話文の言葉やエピソードから、登場人物の人物像や心情を捉える。作品に描かれた登場人物の生き方や考え方を読み、人間や社会に対する自分の意見を書く。	●			●	●	登場人物のエピソードや言葉に着目して読み、作品を理解している。 登場人物の生き方や考え方をもとに、人間や社会もついて考えを深めようとしている。
		論語 ◎漢文の言い回しに注意して、文脈における語句の意味を捉えて読み、人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちの生活と関連づけて考える。	●			●	●	脚注を参考に語句の意味を捉えて、漢文の言い回しに注意して読み、孔子の考え方に対する自分の考えをもっている。
		評価しながら聞く ◎議題を決めて話し合い、相手の考えと自分の考えとを比較しながらメモを取る。 社会との関わりを伝えよう ◎相手や目的に応じたスピーチを	●	●				メモを取り、自分の考えと相手の考えを比べながら、整理している。 自分の体験や知識を基にスピーチの話題を決めている。

		する。 ◎自分の体験や知識を整理して、話す内容を決める。 ◎話す相手や目的を意識して、資料を活用したり、話し方を工夫したりする。 熟語の読み方 ◎熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読んだり使ったりする。		●				場面や目的、相手に合った話し方をしている。 熟語の成り立ちや、音読み・訓読みを確かめながら読んでいる。また、示された熟語以外の例を挙げ、理解を深めている。
月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
6	2 視野を広げて 12時間	論理の展開や表現の工夫について評価し、自分の考えをもつ月の起源を探る ◎文脈の中での語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理の展開のしかたを捉える。 文章の形態を選んで書く ◎文章の形態の特徴を知り、それぞれの形態の特徴を踏まえた表現の工夫をする。 魅力的な紙面を作ろう 修学旅行記を編集する ◎内容にふさわしい文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書く。 ◎書いた文章を読み返し、文章構成や表現、紙面の体裁を整える。 「想いのリレー」に加わろう 「情報発信」について考えよう ◎語句の使い方に気をつけながら現代のメディアの特徴を読み取り、情報発信の意義と注意点について考えを深める。	●			●		図と本文との対応を確かめながら筆者の論理展開を読み取り、そこに表れる筆者の科学的なものの見方や研究方法を理解している。 文章の形態の特徴を踏まえた表現の工夫をしている。 内容に合った文章の形態を選び、素材の配置など、紙面構成を工夫している。 文章を読み返し、形態に合った文章構成や効果的な表現になるよう、紙面の体裁を整えている。 現代メディアの特徴や情報発信の意義と注意点を読み取り、自分の日常生活と結びつけて考えようとしている。

		和語・漢語・外来語 ◎和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	●				●	和語・漢語・外来語のそれぞれを理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。
月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
7	3 言葉を見つめる 7時間	俳句の可能性 俳句を味わう ◎筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。 ◎感動の中心が効果的に伝わるように、語句や語順に注意して俳句を作る。 言葉を選ぼう ◎時間の経過によって変化した言葉や世代によって使われ方が違う言葉を見つけ、その違いを理解するとともに、調べた内容について相手にわかりやすい説明になるように構成を工夫して書く。 「批評」の言葉をためる ◎文脈における語句の意味に気をつけながら「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。 文法への扉1 すいかは幾つ必要？ ◎文の成分の順序や構成など、文法についての理解を深め、日常生活や学校生活の中での表現や読解に生かす。	●		●	●		俳句の約束事を理解し、俳句に込められた作者の思いや情景を読み味わっている。 語順や表現のしかたに注意して、自分の思いや感動を俳句に表現している。
	読書生活を豊かに 2時間	高瀬舟 未来の私にお薦めの本 読書案内 読書コラム ためになるってどんなこと？ ◎目的をもって本を読み、表現上の	●		●	●		日常の言語生活を振り返り、調べた内容をわかりやすく説明する工夫をしている。 時代による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解している。 文脈における語句の意味に注意して読み、筆者の考えを捉え自分の考えを深めている。 文法的な観点から誤解の生じた原因を理解している。
			●		●	●		表現や場面・人物設定などに着目して読み、自分のものの見方や考え方を広げるとともに、読書生活について考えている。

		特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定などを捉えて、自分の考えを広げたり深めたりする。						
月	単元名 指導時数		評価の観点					
			関	話	書	読	知	
9	4 状況の中で 13時間	挨拶 ◎比喻や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉える。 ◎詩に表現されている内容と、現代社会の状況を重ね合わせながら考えを深める。 故郷 ◎表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。 ◎時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考えをもつ。 練習 推敲して文章を整える ◎書いた文章を読み返し、文章全体を整える。 新聞の社説を比較して読もう ◎一つの話題に関する複数の文章を読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げる。 ◎構成や論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して意見を主張する文章を書く。 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 ◎慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。 漢字2 漢字の造語力 ◎漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。	●			●		比喻や象徴的な表現に着目し、作者の思いを読み取っている。作品に込められた思いを、詩の世界と現実の世界の在り方とを重ね合わせながら考え、自分の言葉で説明している。 ● 場面や登場人物の設定を表す語句や表現に着目し、登場人物の心情を読み取っている。 時代や社会の変化の中での人と人との関わりについて、自分の考えをもっている。 示された観点に沿って文章を見直し、文章全体を整えている。 ● 内容の違いを読み比べ、主張や構成について評価し、自らのものの見方や考え方を広げている。 社説をもとにテーマを決め、構成や引用する資料を工夫して意見文を書いている ● 慣用句・ことわざ・故事成語を調べ、知識の幅を広げている。 ● 漢字の造語力について理解している。

月	単元名 指導時数		評価の観点					
			関	話	書	読	知	
	5 いにしえの心 と語らう 8時間	音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 ◎比喩表現などの表現上の工夫に注意しながら「古今和歌集 仮名序」の冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。 君待つと一万葉・古今・新古今 ◎効果的な表現や語句の使い方に着目して、それぞれの和歌を読み味わう。 ◎歴史的な背景に注意して古典の和歌を読み、昔の人の心情や情景を読み味わうとともに、和歌に歌われている人間や自然などについて、自分の考えをもつ。 夏草―「おくのほそ道」から ◎古典の文章を、表現のしかたや文体の特徴に着目して読み味わう。 ◎歴史的背景などを考えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。 ◎古典の文章の中から自分の心に響いた言葉を引用し、文章の形態を工夫してメッセージを書き、読み合う。 古典を心の中に ◎古典作品について書かれた文章を読み、自分の考えを深め、古典の世界に親しむ。	●			●	●	古人が「和歌」をどのようなものとして捉えていたかを理解している。 和歌の表現技法や語句の使い方に気づいて読み、感想をもっている。 脚注を参考にしながら古人の心情や情景を読み取り、和歌に対して自分の考えをもっている。
			●		●	●	●	作品の表現のしかたや文体の特徴に着目しながら読んでいる。 芭蕉の感じたことを踏まえながら、選んだ俳句が心に響いた理由を述べている。 歴史的背景を踏まえながら作品を読んだり、古典の一節を引用した文章を書いたりして、古典の世界に親しんでいる。
			●				●	古典には人の姿やさまざまな世界が描かれていることを理解している。
月	単元名 指導時数		評価の観点					
			関	話	書	読	知	

11	6 論旨を捉えて 18時間	作られた「物語」を超えて ◎筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて評価する。 ◎筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。 練習 話し合いを効果的に進める ◎話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。 話し合って提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く ◎社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をし、自分のものの見方や考え方を深める。 ◎話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。 練習 観点を立てて分析する ◎社会生活の中から課題を決め、観点を立てて分析し考えを深める。 説得力のある文章を書こう 批評文を書く ◎社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。 ◎論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書き、書いた文章を読み合ってもものの見方を深める。	●			●	●	語句や論理の展開、表現のしかたなどについて自分なりに評価している。 読み取ったことを踏まえ、これからの「新しい世界」について自分の考えをもっている。 話し合いが効果的に展開するように、論点を整理するなどして進行を工夫している。 社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して提案し、話し合いを通して自分のものの見方や考え方を深めている。 観点に沿って論点を整理し、長所を生かしてよりよい結論になるように話し合いを進行している。 挙げられた例を観点を立てて分析することで、課題について論じたり評価したりしている。 分析のための観点を示し、判断や批評の根拠を明確にし、資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書いている。 友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てている。
1 2		初恋 ◎詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。	●			●		表現や語句の効果に着目し、作者の思いについて、自分の状況と照らし合わせながら説明している。

	読書に親しむ 1 時間	文法への扉 2 「ない」の違いがわからない？ ◎ 2 年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 エルサルバドルの少女 ヘスース 読書コラム 読書記録をつける 読書案内 ◎ 目的をもって本を読み、人間・社会・自然などについての知識を広げ、自分の考えを深める。	●				●	文節の区切りや品詞の違いについて理解している ヘスースの生き方などに着目して読み、人間の生き方や社会の在り方について考えている
月	単元名 指導時数		評価の観点					
			関	話	書	読	知	
1	7 未来へ向かって 2 5 時間	3 年間の総復習 誰かの代わりに ◎ 現代社会の可能性や困難、自分の生き方について考え、意見をもつ。 ◎ 文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開のしかたを捉え、内容の理解に役立てる。 わたしを束ねないで ◎ 詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見をもつ。 漢字 3 漢字のまとめ ◎ 2 年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のだいたいを読み、適切に使い慣れる。 三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う ◎ 三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。 ◎ 自分の経験や知識を整理して話し、発表内容や書いた作品を評価	●			●		筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自分の意見をもっている。 抽象的な語句や論理の展開のしかたを捉え、内容を理解している。 詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見をもっている。 漢字の読み方や意味を確かめながら問題に取り組み、おおむね理解している。 三年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、冊子の構成を工夫している。 冊子の内容を生かして発表し、評価し合って自分の表現に役立てたり、ものの見方や

		し合ってももの見方や考え方を深める。						考え方を深めたりしている。
--	--	---------------------------	--	--	--	--	--	----------------------